

# 緩和ケアだより

松江市立病院 緩和ケア病棟広報誌

2024

vol.

37



 松江市立病院 緩和ケア病棟

題字デザイン：Katsuto Nagira

## 緩和ケア病棟の理念

緩和ケアとは、苦痛の緩和を必要とする悪性疾患の患者とその家族のQOL（人生と生活の質）を改善することです。

当院緩和ケア病棟では、患者やその家族の想いを可能な限り尊重し、その人らしい生活を送ることができるように、さまざまな専門家とボランティアがチームとして支えます。

## 基本方針

1. 痛みやその他の苦痛となる症状を緩和します。
2. 患者さんがその人らしく生きることができるように支えます。
3. 無理な延命や意図的に死を招くことはしません。
4. 病気の早い段階から適用し、積極的な治療に伴って生ずる苦痛にも専門性をもって対処します。
5. 患者さんの希望に沿い、在宅への支援を行ないます。
6. 患者さんの療養中から死別した後に至るまで、家族が様々な困難に対処できるように支えます。

## CONTENTS

● Message 最近 想うこと「近づく緩和ケアを思う」	1
● 職員紹介	2
● クリスマス特集	3・4
● 季節の行事	5・6
● 徒然日記	7



緩和ケアセンター長  
安部 睦美

## 最近 思うこと 「近づく緩和ケアを思う」

先般、徳永進先生が「ののほな通信」に「遠ざかる」「近づく」という言葉を書いておられました。本来であれば「緩和ケア」は「近づく」ケアを提供するもの。しかしコロナ禍からsocial distanceを保たなければならなくなり、患者さんと医療者の間には「マスク」という道具を使用しなければならなくなりました。近づかなければならない「緩和ケア」がだんだん遠ざかっていくと感じているのは私だけでしょうか？笑顔、表情、口元が患者さんを癒すことは皆さんが現場で感じてこられたことでは……「最後まで看護師さんの顔を知らずに、主治医の先生の顔を知らずに」という言葉をこの4年間でなんと聞いてきたでしょうか？しかしコロナ感染症が5類になっても、なかなかマスクを外して現場で患者さんと向き合うことはまだまだ難しい毎日です。なんとか「目元」で患者さんに安心をと心しながら臨床にあたっている日々です。そんな中、つい先日、すでに20年以上前にお別れをした患者さんの携帯電話から電話がかかってきました。息子さんの声でした。「父が先ほど息を引き取りました。父の手帳に亡くなったら知らせて欲しい方

のなかに入っていたので電話しました。」とのこと。Yさん、80歳代の方、20数年前にお別れをしたのはYさんの奥様、Yさんは奥様を亡くされてからずっと奥様の携帯を使っておられたのです。離島の方で、奥様が「どうしてももう一度帰りたい」といわれ、一度フェリーで同行をさせていただいたこと、その後もお電話や年賀状でのやり取りをさせていただいていたのがYさんでした。息子さんも「お家に伺ったことがあるんですよ。」と伝えると、「子どもだった僕も覚えています。」とのお返事、遠い離島と20年以上繋がっていたこと、そして最後まで私のことを覚えてくださってたこと、「遠ざかる」ことに落ち込んでいた私は「こうやって近づいていたんだ」と胸を熱くして電話を切りました。これからも「遠ざかる」のではなく、「近づく」緩和ケアをその時代その時代に合わせて私たち医療者は提供していく努力を惜しんではいけないという事を今は天国にいらっしゃるYさんご夫婦に教えてもらったような気がしています。形は違っても～「近づく」緩和ケア～をスタッフともどもこれからも提供していきたいと思えます。

緩和ケア病棟  
STAFF INTRODUCTION

# 新入職員紹介

緩和ケア病棟のスタッフは、症状緩和、その人らしさを大切にした日常生活の援助、家族のサポートなどに努めています。  
また、患者さん、ご家族の希望を把握し、環境を整え、多職種間での調整役をしています。  
このコーナーでは松江市立病院の緩和ケア病棟の新しいスタッフを紹介します。

新入職員



看護師

園山 美歩

穏やかな入院生活を送れるように関わらせていただきたいと思います。よろしくお願いします。



新入職員



看護師

宮廻 潤平

患者さんの療養の支えとなるよう一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



今回の  
ミドコロ

# クリスマス

令和5年12月14日(木)

今年はゲストをお招きすることができました！松江市内で活動されているヴァイオリニストの池上さんと、当院でボランティア活動されているボランティアさんが所属するダンスチームの皆さんです！新型コロナウイルスも第5類となり、ようやく外部からお越しいただくことが出来、とても華やかにぎやかな会となりました。患者さんはじめ、スタッフもボランティアスタッフもみんなで楽しみ、盛会となりました。みなさんご協力ありがとうございました♪



ダンスチームが参加してくれました！



曲は「他人の関係」 かつよかったー！



ヴァイオリンの美しい音色に癒されます



曲は「他人の関係」 かつよかったー！



ダンスチームと同じ色！でも見た目が全然違う！



ミニデコレーションケーキ



みんなで飾り付けました！



素晴らしい演奏をありがとうー！



宣誓！楽しく過ごすことを誓います！



宣誓！



富士山です。いやいや、和田師長です。



ボランティアさんがおもちゃの病院に連れて行ってきて、無事治って再び踊りだしたダンシングサンタ！



衣装替えしてかつよかったー！



ボランティアさん作成のクリスマスカード



あ〜、笑い過ぎて涙が...



トナカイです(小糠先生)



今年もありがとうございました！



クリスマスと言えばケーキですよー！



伯耆富士

あたしも仲間に入れて〜！

月見会  
令和5年9月7日

今年もお箏と尺八の先生方にお越し頂きました。相変わらずの素晴らしい音色に、患者さん  
はもちろんスタッフもうっとりでした♪



みんな琴と尺八の音色にうっとりしてます



すごいなあ〜♪



今年もありがとうございました！



月と言えばうさぎ、うさぎといえはたぬき？！



トラ模様の珍しい  
すすきをボランティア  
アさんが持ってきて  
くださいました

新春の宴  
令和6年1月18日 (木)

明けましておめでとうございます！ というわけで新春の宴です。  
今年は紅白で福笑い対決！ 会場で紅白に分かれて、右だ左だ上だ下だの大騒ぎでした！  
どっちがうまくできたかな！



どこに貼る？！右右！もっと左〜！



「これは眉？」



耳鼻科の榎本先生が仮装団の餌食に…



中右先生、空手の形を披露！



司会は緊張します



豆腐白玉ぜんざい

桃の節句  
令和6年3月7日 (木)

小糠先生と研修医の先生が可愛らしくお内裏様とお雛様になってくれました♪  
中右先生の太鼓に合わせて「踊って！」という無茶ぶりに見事に対応してくれました！  
そして和田師長は…なぜか富士山に桃をかぶるという奇怪な様子に…



今回も頑張りました！



なぜか富士山に桃をかぶっている和田師長



みんなで合唱しました〜



踊れと無茶ぶりされて見事に踊り切る小糠先生



「はい、和田です」電話の向こうには  
見えてないもんね

節分  
令和6年2月1日 (木)

ちょっと早い豆まきをしました！ 旧正月ということで獅子舞（和田師長）も登場し、にぎ  
やかになりました！いやもうみんなで大騒ぎしました〜！



大成功！



みんなこっちむいて〜！



今年の節分's



「ああ、きてくれたの〜!!」



命！



患者さんもみんなで準備



安部先生の頭もかじっとこ



「きゃ〜、かじられた!!」



山本くんも参加♪



福の神がピアノ/  
弾いています



みんなで大騒ぎ！

花見  
令和6年4月

今年もきれいに咲きました！ 例年よりちょびっと早かったでしょうか。肌寒い日が続い  
たせいで、長らく楽しむことができましたー。





患者さんのぬいぐるみと  
ツースョットの山本くん



冠雪の大山

# 徒然日記



リハビリの安部さんと



多肉植物



かわくなるかな～

春になってお花が増えてきました



ボランティアさんが管理してくれている院内に咲く  
あじさい。病棟も華やかにいってくれました！



植え替えしました～



安部先生お誕生日おめでとうございます！



若者休憩中(笑)

## 編集後記

6月前半はまだ肌寒い日もあったりして、気温の差が激しく、なんだか体が疲れるなあ（自律神経の乱れ？）と感じていました。そして激しい梅雨入りとなり、とても蒸し暑く、患者さんもだるかったり眠かったりという方が多く、やはり天気の影響は大きいのだなあとしみじみと感じている今日この頃です。

まだまだ蒸し暑さは続き、梅雨が明けたら本格的に夏本番となります。セミの声もちらほら聞こえ出しました。連日の熱中症アラートにやる気もその気も持っていってしまうのは私だけでしょうか。みなさんもどうぞ暑さにお気をつけてお過ごしください。

ところで今年はラニーニャで冷夏とうわさもありますが、本当でしょうか？！

西 紫

編集委員会  
編集長：中右 礼子  
編集・校正：中右 礼子、和田 祥恵  
編集・写真：西 紫

令和6年7月 発行  
松江市立病院 緩和ケア病棟  
〒690-8509 島根県松江市乃白町32-1  
TEL：0852-60-8000（代表）／FAX：0852-60-8005（総務）

※掲載写真及び記事については、本人もしくはご家族の許可を得ています。



松江市立病院  
MATSUE CITY HOSPITAL